

平成29年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00240 ）

事務事業名称 青少年育成			款 04	項 02	目 01	事業 004	整理番号 255			
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 249					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和29年度								
	平成28年度担当課名	児童青少年課		事業評価区分 一般						
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱 杉並区青少年善行表彰要綱					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちの健全育成を推進する。 善い行いをした青少年及び団体を表彰し、善行の気運醸成を図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	青少年育成委員会の総事業数 青少年善行表彰件数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	青少年健全育成団体に対し、補助金または事業共催分担金を支出する。 すぎなみ舞祭を開催する。 善い行いをした青少年を表彰する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	青少年育成委員会実施事業参加者数 共催事業参加者数 すぎなみ舞祭、ボーイスカウト・ガールスカウトとの共催事業参加者数					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画（目標値） 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 件	473	450	436	450	306	400	68.0	
	活動指標（2）	2 件	186	190	182	190	234	200	123.2	
	成果指標（1）	3 人	93,648	100,000	72,324	100,000	85,078	100,000	85.1	
	成果指標（2）	4 人	1,173	1,150	1,098	1,150	1,645	1,650	143.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	19,978	20,675	20,371	19,471	19,277	19,677	平成28年度 予算執行率(%) 99.0	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	731	787	629	328	149	218		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.33	1.50	1.70	1.50	2.60	1.50	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.50	0.50	1.10	1.10	
	人件費	常勤職員分	11 千円	20,527	13,215	14,870	13,121	22,261	12,843	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	1,468	1,468	3,268	3,268	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	40,505	33,890	36,709	34,060	44,806	35,788		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	85,634	75,311	84,195	75,689	146,425	89,470		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	40,505	33,890	36,709	34,060	44,806	35,788		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	255
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		青少年善行表彰の表彰状授与及び記念品の贈呈	234	件	805
		青少年育成委員会活動への助成	17	件	17,000
		すぎなみ舞祭、ボーイスカウト等共催事業の開催	5	件	1,371
	その他（青少年育成委員会に係る消耗品の購入及び郵送料）				101
(2) 事業実績	<p>青少年善行表彰では、昨年度を上回る個人209名及び団体25団体の表彰を行いました。区内17団体の青少年育成委員会に対し助成を行い、総数約1,000人の委員が携る青少年健全育成事業を促進しました。すぎなみ舞祭を開催し、青少年1,416名の参加がありました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>核家族化や地域とのつながりの希薄化が進む中で、社会において青少年の健全育成に資する取組が求められています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「善行表彰を受けることがボランティア活動の励みとなっている」、「舞祭に参加することで自信を持って行動できるようになった」等の意見が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>青少年の健全育成を目的として活動する団体は、学校・家庭・地域とのつながりを築ける団体として、地域社会で重要な存在です。団体構成員の硬直化に伴う高齢化を防ぐために、PTA等が中心となるような体制づくりが望まれています。 また、行政と地域団体、健全育成関係者、学校等が連携しながら、地域社会全体で健全育成事業を推進することが今後更に求められます。</p>			
評価と課題	<p>長年にわたり、青少年育成委員会をはじめとする多数の関係者が、地域社会における健全育成活動を担い、一定の成果を挙げてきました。一方で、組織の高齢化やメンバーの固定化による事業の硬直化が課題となっています。 青少年善行表彰は、善行の励行に評価を得て、年々推薦件数が増加しています。被表彰者が増える中において、表彰を受ける善行の質を一定の水準維持することが課題です。 すぎなみ舞祭は、平成29年に10周年を迎え、区内外において認知された区を代表するイベントとなりました。単なるダンス大会ではなく、子どもから大人まで一般来客者が楽しめるイベント構成や青少年自身の運営への参画推進など、更なる充実に努めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>青少年育成団体については、現状の組織体制や事業運営等の実態を踏まえ、団体の活動への助成・支援のあり方を検討します。青少年善行表彰やすぎなみ舞祭などの青少年の健全育成事業は引き続き着実に実施します。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00241)

事務事業名称 青少年の自立応援・社会参加事業			款 04	項 02	目 01	事業 005	整理番号 256				
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 250						
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度									
	平成28年度担当課名	児童青少年課						事業評価区分 一般			
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年		根拠法令等	(1)	成人祝賀のつどい実施要綱					
					(2)						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	青少年が、社会を構成する主体として自覚を持った成人に成長するよう支援する。		活動指標	指標名(1)	成人祝賀のつどい出席者数					
				指標説明	自立支援・社会参画事業実施回数						
				指標名(2)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○成人の日に成人祝賀のつどいを開催する。 ○中・高校生の参画による情報サイトを運営する。 ○青少年ボランティア体験事業を実施する。 区内在学の高校生を対象に、将来の夢や仕事に関する意識調査を実施する。		成果指標	指標名(1)	自立支援・社会参画事業参加人数						
				指標説明	各実施事業の参加延べ人数						
				指標名(2)	将来の夢や目標を持っている区内高校2年生の割合						
				指標説明	区内高校2年生に対する将来の夢や仕事に関するアンケートの集計結果						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	2,338	2,200	2,135	2,200	2,192	2,200	99.6		
	活動指標(2)	2 回	121	100	137	100	82	90	82.0		
	成果指標(1)	3 人	6,335	5,000	5,637	6,000	6,690	6,000	111.5		
	成果指標(2)	4 %	65.4	90	64.0	90	63.8	75	70.9		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	10,885	9,962	9,585	9,852	9,284	12,337	平成28年度予算執行率(%)	94.2	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	8,091	7,154	7,025	7,413	7,232	9,553			
	職員数	常勤職員数	8 人	1.76	1.50	1.70	1.50	1.40	1.00		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	1.40	1.40	0.80	0.60		
	人件費	常勤職員分	11 千円	15,506	13,215	14,870	13,121	11,987	8,562		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	4,109	4,109	2,377	1,783		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	26,391	23,177	28,564	27,082	23,648	22,682			
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,288	10,535	13,379	12,310	10,788	10,310			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(14-20)		21 千円	26,391	23,177	28,564	27,082	23,648	22,682			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	256
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		成人祝賀のつどいの実施	1	日	7,364
		青少年地域情報サイトの運営委託			1,500
		青少年ボランティア体験事業の実施	1	回	96
		区内高校2年生に対するアンケートの実施	16	校	31
		その他(自立応援・社会参加事業に係る消耗品の購入及び郵送料)			293
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>成人の日に成人祝賀のつどいを開催しました。(参加者2,192名) 中高生に有益な地域情報などをリアルタイムで発信する青少年地域情報サイト「セドル」の運営を行いました。 ボランティアセンターと協働し、ボランティア体験の場を提供しました。(参加者140名)</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>ニートやひきこもりなどが社会問題化する中で、青少年への自立支援が増々必要とされています。また、選挙権年齢が引き下げられ、今後更に成人年齢の引き下げが予定されるなど、若者層への社会参画が期待されています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>青少年情報の収集・発信事業について、仕事と将来に関するアンケートは、「キャリア教育に大いに活用できる」と協力校から高い評価を得ています。一方で、青少年情報サイトは、サイト利用者が限定されている上に、「使い勝手が悪い」、「魅力ある情報が少ない」など、厳しい評価の声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>成人年齢の引き下げが具体化するなど、若者層への社会参画が進むことに伴い、より一層、自立を促す取組が重要になってきます。</p>			
評価と課題		<p>区内在校の高校の協力が定着してきた将来の夢と仕事に関するアンケートの実施結果は、区の青少年行政の施策指標や協力校におけるキャリア教育の指標として有効に活用されています。成人祝賀のつどいや青少年ボランティア体験事業については着実に実施し、青少年の自立につながる取組となりました。一方、情報の発信に関わる地域情報サイトについては、対象世代への認知度が不足しているため、インターネットの持つ機能を最大限に発揮したサイトの運用方法の構築が求められています。近年、中高生生の参画による地域情報サイト運営が低迷していることから、事業の大幅な見直しを図ります。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>成人祝賀のつどい等は引き続き着実に実施します。地域情報サイトの運営については、青少年にとって魅力ある情報を中高生が主体となって、当該世代により身近なSNSを有効に活用して発信していける仕組みへと見直しを図ります。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00270)

事務事業名称		学童クラブ事業			款	04	項	02	目	01	事業	034	整理番号	282	
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	277	
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度													
	平成28年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分 一般										
	対象	保護者が就労等で昼間留守家庭となる区内在住・在学の小学生			根拠法令等		(1)		児童福祉法第6条の3第2項						
						(2)		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	家庭、学校、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図るなど、児童の健全育成支援を目的とする。			活動指標		指標名(1)		学童クラブ数						
							指標説明								
							指標名(2)								
							指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		児童一人ひとりが尊重され、安心して安全に、楽しく過ごせる放課後等の集団生活の場を提供する。 児童の受入時間 平日 下校時から午後6時まで(延長利用は午後6時30分まで、学校休校日は午前8時30分から受入) 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 休業日 日曜、休日、年末年始			成果指標		指標名(1)		入会児童数						
							指標説明		4月時点の入会児童数						
							指標名(2)		待機児童数						
							指標説明		翌年4月時点の待機児童数						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	か所	50	50	50	49	49	49	100.0					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	人	3,621	3,738	3,813	3,864	4,018	4,100	104.0					
	成果指標(2)	4	人	87	0	84	0	199	0	0.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	287,791	303,559	298,654	363,300	357,507	430,122	平成28年度予算執行率(%)	98.4				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	256,811	268,319	266,638	327,247	325,660	397,050						
	職員数	常勤職員数	8	人	80.20	76.50	86.50	75.60	85.60	75.10					
		再任用職員数	9	人	1.00	2.40	2.40	3.60	3.60	4.40					
		非常勤職員数	10	人	2.00	2.00	3.60	2.80	3.00	2.90					
	人件費	常勤職員分	11	千円	706,562	673,965	756,616	661,273	732,907	643,006					
		再任用職員分	12	千円	4,050	9,720	9,934	14,900	15,804	19,316					
		非常勤職員分	13	千円	5,660	5,660	10,566	8,218	8,913	8,616					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	1,004,063	992,904	1,075,770	1,047,691	1,115,131	1,101,060					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	20,081,260	19,858,080	21,515,400	21,381,449	22,757,776	22,470,612					
	財源	受益者負担分	16	千円	112,000	152,952	153,342	159,195	165,781	170,603					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	151,434	96,145	155,047	154,925					
		都からの補助金等	18	千円	7,675	7,666	4,086	8,182	155,047	154,925					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	119,675	160,618	308,862	263,522	475,875	480,453						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	884,388	832,286	766,908	784,169	639,256	620,607						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	11.2	15.4	14.3	15.2	14.9	15.5							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	282	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		学童クラブ運営業務委託		11	所	320,371
		民間学童クラブ運営費助成		2	所	17,796
		おやつ代助成		652	人	12,694
	その他（事務費ほか）					6,646
(2) 事業実績	<p>区立学童クラブ（区直営38クラブ、委託11クラブ）の運営のほか、民間学童クラブへの運営費補助や学童クラブを利用している就学援助受給世帯等へのおやつ代助成を実施しました。下高井戸学童クラブを高井戸第三小学校内へ移転するに当たり、運営業務委託事業者を選定しました。平成29年4月からの委託開始に向け、委託業者が現在の学童クラブ運営に関わりながら、引継ぎを行いました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。</p>				
評価と課題	<p>増加する学童クラブ需要に応えるため、小学校内への移設や既設学童クラブの改修等を計画的に進め、受入数の拡大に努めましたが、局所的に受入数を上回る入会申請数となりました。一方では、平成29年4月開始に向けて、放課後等居場所事業や学校から児童館への直接来館制度の実施を準備し、学童クラブ以外の新たな受け皿を具体化しました。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>中長期的な児童数の推移を見据え、校舎改築との整合を図りながら、今後も段階的に小学校内への移設を進めます。喫緊の需要対策としては、需要増が顕著な地域を中心に、既存の学童クラブの受入数を拡大するとともに、登録した児童が放課後、学校内で安全に過ごすことができる放課後等居場所事業の拡充や、学校からランドセルを持ったまま、直接児童館に来館できる直接来館制度など、学童クラブ以外にも放課後等の多様な居場所の整備をあわせて進めます。</p>				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00271)

事務事業名称		児童健全育成事業				款	04	項	02	目	01	事業	035	整理番号	283	
現担当課名		児童青少年課				係名	児童館運営係			事業係	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	278		
上位施策No・施策名											24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 03				主要事業(区政経営報告書掲載事業)									
	平成28年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般										
	対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等				根拠法令等	(1)	児童福祉法第35条、同法第40条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	児童青少年センター及び児童館における事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。				活動指標	指標名(1)	センター、児童館及び子ども・子育てプラザ数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	児童館の自由利用のほか、定例活動(工作、調理等)や、特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等)等の実施 児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業(職員企画、中高校生企画、中高校生運営委員会企画事業等)の実施 放課後等居場所事業のモデル実施				指標説明	指標名(2)	年間延べ利用者数(センター、児童館及び子ども・子育てプラザ)								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 館	42	42	42	42	42	42	100.0							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3 人	1,462,950	1,500,000	1,587,603	1,600,000	1,643,055	1,650,000	102.7							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	26,841	387,220	361,564	400,518	372,417	422,362	平成28年度 予算執行率(%)	93.0						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	909	2,024	1,408	1,941	1,229	19,826								
	職員数	常勤職員数	8 人	90.20	112.00	114.50	111.00	114.10	110.10							
		再任用職員数	9 人	2.00	4.80	4.80	7.20	7.20	8.80							
		非常勤職員数	10 人	68.50	89.10	89.20	96.20	96.00	99.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	794,662	986,720	1,001,532	970,917	976,924	942,676							
		再任用職員分	12 千円	8,100	19,440	19,867	29,801	31,608	38,632							
		非常勤職員分	13 千円	193,855	252,153	261,802	282,347	285,216	294,129							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	1,023,458	1,645,533	1,644,765	1,683,583	1,666,165	1,697,799								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	24,368,048	39,179,357	39,161,071	40,085,310	39,670,595	40,423,786								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	3,993	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	3,993	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	7,986	0								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	1,023,458	1,645,533	1,644,765	1,683,583	1,658,179	1,697,799								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	283
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		児童青少年センター事業	1	館	3,587
		児童館事業	41	館	20,300
		非常勤職員報酬・賃金の支払			309,671
		放課後等居場所事業	6	校	3,601
		その他(管理運営費、児童館中高生事業等)			35,258
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>○児童館では館内外での活動に加え、地域団体との連携事業など多彩な活動を展開し、遊びを通して子どもの成長を支援しました。児童青少年センターでは、利用者の意見を踏まえた事業運営を行うなど、より利用しやすい中・高校生の居場所となるよう努めました。</p> <p>○小学生の新たな居場所としての放課後等居場所事業について、モデルとなる取組を6校で実施し、平成29年度の本格実施に向けて、具体化を図りました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>児童館は昭和40年代から設置され、地域の児童健全育成と子育て支援の拠点として様々な事業を実施しています。現在では区内に42館が設置されていますが、中でも児童青少年センターは全国に先駆け設置された中・高校生向けの大型児童センターとして事業を展開しています。</p> <p>近年、乳幼児親子の利用増加、学童クラブ需要の増大等、利用状況が大きく変化しています。限られたスペースの中で、幅広い年齢層のニーズを満たす事業・サービスを展開していくことが難しくなっています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>乳幼児の利用に当たって、小学生以上の児童との混在は安全に不安がある、午後の時間帯や夏休み等は小学生の利用が多く実質的に利用できないなどの声が寄せられています。</p> <p>同様に、中・高校生にとっても児童館は利用しづらく、児童青少年センターの他にも、身近な地域で利用が可能な中・高校生の居場所を求める声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>○核家族化の進展や地域社会のつながりの希薄化、都市化による遊閑地や遊び場の減少などの社会状況の変化を背景に、子どもたちが安全・安心に過ごし、交流できる居場所づくりがこれまでに以上に必要になると考えられます。</p>			
評価と課題		<p>児童館は、児童の健全育成支援・子育て支援の地域の拠点としての機能・役割を果たしていますが、学童クラブ需要増や乳幼児親子の利用増など児童館の利用形態の大きな変化とともに、幅広い年齢層のニーズに応えることが困難になってきました。今日の課題に的確に対応し、健全育成支援の充実を図っていくため、児童館施設という枠組みに囚われない事業展開が必要になっています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>区立施設再編整備計画に基づき、乳幼児親子の子育て支援機能を中心とした子ども・子育てプラザの整備や小学校内での放課後等居場所事業等の取組、中・高校生の新たな居場所づくりの具体化を着実に推進していきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00273）

事務事業名称		子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	285	
現担当課名		児童青少年課			係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	280		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 2年度													
	平成28年度担当課名	児童青少年課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住の小学生（4～6年生）			根拠法令等	(1)		杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱							
					根拠法令等	(2)		杉並区都市交流実施要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○友好都市の子どもとの交流を通して、児童の健全育成を図る。			活動指標	指標名（1）		交流自治体数							
				指標説明	指標名（2）										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	名寄市との交流会 東吾妻町との交流会			指標説明	指標名（1）		参加者数								
				指標説明	指標名（2）										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1	自治体	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3	人	50	50	50	50	50	100.0						
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,691	6,870	6,797	6,404	5,642	7,484	平成28年度 予算執行率(%)	88.1				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0	交流会に係る分担金について、予定していたプログラムが荒天により一部中止となったため、予算執行残となっています。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.00	1.00	1.10	1.00	1.10	1.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	8,810	8,810	9,622	8,747	9,418	8,562					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	14,501	15,680	16,419	15,151	15,060	16,046						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	7,250,500	7,840,000	8,209,500	7,575,500	7,530,000	8,023,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	2,762	3,241	2,880	3,025	2,653	3,533						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,762	3,241	2,880	3,025	2,653	3,533						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	11,739	12,439	13,539	12,126	12,407	12,513						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	285	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		杉並区・名寄市子ども交流会		2	回	4,707
		杉並区・東吾妻町子ども交流会		2	回	935
		その他()				
	(2) 事業実績	○名寄市との交流会(7月名寄編:3泊4日、8月杉並編:3泊4日 25名) ○東吾妻町との交流会(8月東吾妻編:2泊3日、8月杉並編:1泊2日 25名)				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の交流自治体である名寄市との子ども交流会は、平成5年に、名寄市(当時の風連町)の小學生を杉並区に招待することから始まり、現在では、子どもたちが相互に訪問・交流し、友好を深めています。 同じく交流自治体である東吾妻町との交流会は、平成2年から実施しています。 当初は、交通実費等の参加者の一部負担がありましたが、平成24年度からは、次世代育成基金活用事業として、参加費を徴収せずに実施しています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年度、定員を超える参加申し込みがあり、「参加費を徴収しても良いので、毎年申込できるようにしてほしい」といった意見が寄せられています。 また、参加した児童からは、「普段は体験できない様々なイベントに参加できて楽しかった」、「たくさんの友達ができてよかった」、「すてきな人・場所を知ることができた」、「東京との気候の違いを感じ、勉強になった」などの感想がありました。				
	今後(3~5年)の予測と方向性	事業が広く認知されており、毎年、定員を大きく超える応募がありますが、今後もそうした傾向が続くことが予測されます。				
	評価と課題	子どもたちの社会性を高め、広い視野を養う取組として、保護者・参加児童・学校関係者等から高い評価を得ています。また、双方の自治体にとっても、子ども同士の交流は、将来にわたっての自治体交流の礎になるものと期待されます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	更に意義のある事業となるよう、交流先の自治体とともに、運営方法やプログラム内容について、検討・協議等を進めていきます。				

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00282）

事務事業名称 次世代育成基金の運営			款 04	項 02	目 01	事業 050	整理番号 294			
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 289				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成28年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般				
	対象	区内の小・中・高校生、支援する大人			根拠法令等 (1) (2)	杉並区次世代育成基金条例 杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	子どもたちが、国内外の文化・芸術・自然に触れ、またはスポーツ交流に参加する機会を創出するため、基金を運営する。 基金への理解・賛同を得られるよう周知し、募金の呼びかけを図る。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	基金活用事業件数 基金活用事業参加者募集（定員）数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の小・中・高校生を対象とした国内外の体験交流事業等の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 基金の趣旨を広く区民に周知し、寄附を募る。			成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	基金活用事業参加児童・生徒数 派遣型事業は参加実人数、講座型事業は参加延べ人数 寄附者件数				
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画（目標値） 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 件	6	8	8	10	10	12	100.0	
	活動指標（2）	2 人	190	250	275	300	717	500	239.0	
	成果指標（1）	3 人	207	250	256	300	740	500	246.7	
	成果指標（2）	4 件	419	1,000	730	1,000	710	1,000	71.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	19,064	30,271	27,644	24,311	15,031	20,281	平成28年度 予算執行率(%) 61.8	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活用事業助成金の交付について、提案事業の申請額が、当初予算の予定額に満たなかったため、予算執行残となっています。	
	（内）委託費	7 千円	10	300	218	290	183	206		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.45	0.50	1.20	0.50	0.10		0.15
		再任用職員数	9 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60		0.50
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,775	4,405	10,496	4,374	856		1,284
		再任用職員分	12 千円	4,050	4,050	4,139	4,139	4,390		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	1,761	1,761	1,783		1,486
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	35,889	38,726	44,040	34,585	22,060	23,051		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	5,981,500	4,840,750	5,505,000	3,458,500	2,206,000	1,920,917		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	10,867	10,167	19,205	10,131	5,806	10,067		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	10,867	10,167	19,205	10,131	5,806	10,067		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	25,022	28,559	24,835	24,454	16,254	12,984		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	294
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		基金の積立	1	回	8,736
		基金活用事業助成金の交付	3	件	5,202
		次世代育成基金活用事業実施報告書の作成	4,500	部	392
		応援寄附募集リーフレットの作成	30,000	部	357
		その他（寄附者宛御礼状及び実施報告書の送付、啓発用消耗品の購入）			344
	(2) 事業実績	区が主催する基金活用事業を7件実施したほか、民間事業者が実施した高校生を対象とする海外派遣型事業1件と講座型事業2件に対し、助成金を交付しました。また、リーフレットの作成等により寄附を募った結果、710件5,614,487円が集まりました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成24年度の開設当初から地域の団体や事業者の会合等において周知し、また、郵便振替用紙付き寄附募集チラシの配布を行った結果、年々寄附件数は増加しています。基金活用事業については、年々拡大するとともに、平成27年度からは、民間事業者からの提案事業に補助金を交付する制度を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	参加者から「将来につながる体験ができた」、「自ら人生を切り拓いていこうと考えるようになった」との肯定的な意見が多数寄せられています。また、寄附者からは、国際社会における子どもたちの活躍につながる事業を期待する声が寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	日常を離れた貴重な体験・交流の場を提供する本基金への期待は今後増々高まると考えられます。また、事業の充実とともに寄附への理解と賛同は進むものと予想されます。			
	評価と課題	民間事業者からの提案事業は、それぞれが子どもたちの将来を思い描いた事業となっており、民間活力により、幅広い分野において子どもたちの夢を育む取組を行うことができました。助成金事業については、参加者や保護者からは高い評価が得られていますが、平成29年度で3年目を迎える基金の更なる効果的運営を図るため、事業の検証を行います。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
		引き続き区民等の理解と賛同を得るよう努めるとともに、基金活用事業の内容充実を図ります。			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00686)

事務事業名称		子どもプレーパーク事業				款	04	項	02	目	01	事業	063	整理番号	303	
現担当課名		児童青少年課		係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		299		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業		目標	05	施策		24	計画事業		05				
	平成28年度担当課名	児童青少年課										事業評価区分		一般		
	対象	児童			根拠法令等		(1)		杉並区協働提案制度実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		プレーパーク実施回数							
	火遊びや水遊び、木工など、屋外での自由な遊びで得られる様々な体験・交流を通じて、子どもたちの自主性や社会性を育成する。				指標説明		指標名(2)									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標		指標名(1)		プレーパーク参加者数								
区内公園を活用したプレーパーク及びプレーパークを実施している地域団体等への運営支援・連携、児童館との連携による出前プレーパーク等を行う。				指標説明		指標名(2)										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回	32	32	48	48	58	100.0							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3	人	5,000	4,239	7,000	7,822	8,000	111.7							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,000	4,746	5,625	5,543	5,539	平成28年度予算執行率(%)	98.5						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0								
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,762	1,749	1,749	1,712	1,712							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	7,762	6,495	7,374	7,255	7,251								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	242,563	202,969	153,625	151,146	125,017								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	2,372	0	2,747	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	2,372	0	2,747	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	7,762	4,123	7,374	4,508	7,251								
受益者負担比率(16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 303

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	協働提案事業「子どもプレーパーク事業」分担金	1	団体	5,494
	(2) 事業実績	その他（事務費等）			49
		<p>NPO法人との協働提案事業として「子どもプレーパーク事業」を実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場のびっばひろっぱ」を開催したほか、児童館等への出前プレーパークの実施や次世代プレーリーダーの養成講座の開催等を行いました。 区立公園でのプレーパーク 柏の宮公園 36回（延べ5,000人参加）、井草森公園 12回（延べ2,826人参加）、出前プレーパーク 7回、次世代プレーリーダー養成講座 4回、協力・連携団体への運営支援 2団体（延べ11回）</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区とNPO法人との協働提案事業として、平成27年7月から子どもプレーパーク事業を開始しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	事業開始後、参加者数は一貫して増加しています。参加した児童・保護者からは「楽しかった」、「また参加したい」といった感想が寄せられているほか、「子どもの成長に効果的であった」、「実施会場や開催日を増やして欲しい」といった意見も寄せられており、参加者からは一定の評価が得られています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	協働提案事業としての子どもプレーパーク事業は、事業開始後3年間を目途に終了することとします。一方、参加人数の増加・事業に対する評価が上昇していることに加え、子どもたちの健全な育成に一定の効果が期待されることから、地域のニーズ把握、効果検証等を行いながら、協働提案事業終了後の実施の有無・方向性などを検討していきます。			
評価と課題		火遊びや水遊びといった自由遊びの場が減少する中で、プレーパークは自主性や社会性を育む子どもの居場所として機能しています。一方、通常の公園利用とは異なる自由な遊びを行っていることから、一般利用者への配慮が課題です。 平成29年度は協働提案事業の最終年度となる予定であるため、将来的な事業のあり方や協働事業者の自主運営の手法等について検討していきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容		平成28年度の実績や利用者からの意見、反省等を踏まえ、予算規模は維持しつつ、より充実した内容となるよう協働事業者と協議していくとともに、将来的な運営に方法について検討していきます。			

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00292)

事務事業名称 児童青少年センター・児童館の維持管理			款 04	項 02	目 02	事業 002	整理番号 306			
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 301					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度								
	平成28年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分	施設維持管理				
	対象	児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ、学童クラブの各施設		根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第35条、同法第45条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○施設の実情にあわせた修繕や設備等の整備を適切に行い、安全・安心で快適に利用できる施設を維持することで、児童の健全育成支援の充実に図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	児童館数(児童青少年センター、子ども・子育てプラザ含む) 単独学童クラブ数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検、小規模修繕 施設の設備、維持管理物品等の購入 施設の光熱費等公共料金の支払		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明						
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 館	42	42	42	42	42	42	100.0	
	活動指標(2)	2 か所	12	12	12	12	12	13	100.0	
	成果指標(1)	3								
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	280,436	302,869	289,079	304,702	277,827	304,910	平成28年度 予算執行率(%) 91.2	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	158,109	175,186	168,895	179,217	168,709	190,366		
	職員数	常勤職員数	8 人	24.40	23.30	24.00	22.90	23.70	22.80	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.40	1.00	1.40	
	人件費	常勤職員分	11 千円	214,964	205,273	209,928	200,306	202,919	195,214	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,830	2,830	2,935	4,109	2,971	4,159	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	498,230	510,972	501,942	509,117	483,717	504,283		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,862,619	12,166,000	11,951,000	12,121,833	11,517,071	12,006,738		
	財源	受益者負担分	16 千円	6,058	4,501	4,224	4,669	5,823	4,342	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	6,058	4,501	4,224	4,669	5,823	4,342		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	492,172	506,471	497,718	504,448	477,894	499,941		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.2	0.9	0.8	0.9	1.2	0.9			

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 306

平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	54	所	158,357
	施設修繕費	54	所	32,892	
	光熱水費			70,796	
	その他（電話料・手数料・備品購入 ほか）			15,782	
	(2) 事業実績	<p>児童館・学童クラブを安全・快適に利用できるよう、施設保守管理委託契約に加え、計画的な備品・消耗品類の購入や迅速かつ効率的な施設・設備の修繕を行い、適切な維持管理に努めました。施設修繕に当たっては、将来的な大規模修繕の計画や関連諸室の改修等の予定を確認し、工事内容や工期が重複しないよう計画的な修繕を進めました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>児童館の多くは昭和40年～50年代に建設され、老朽化による大規模修繕の必要性は年々高まっています。また、近年では、乳幼児親子の利用増加や学童クラブの需要増加など、建設当初に想定した利用状況と大きく異なっています。今後は、老朽化が進む施設の適切な維持管理を図るとともに、区立施設再編整備計画に基づき児童館施設の再編を着実に進める必要があります。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00305）

事務事業名称		学童クラブの整備				款	04	項	02	目	03	事業	037	整理番号	313	
現担当課名		児童青少年課		係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		312		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業		目標	05	施策	24	計画事業		02					
	平成28年度担当課名	児童青少年課										事業評価区分		一般		
	対象	施設管理			根拠法令等		(1)		児童福祉法第6条の3第2項							
							(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの需要増に的確に対応するため、児童館の一部諸室を育成室等へ転用し、学童クラブ受入枠拡大を図る。				活動指標		指標名（1）		改修実施児童館（クラブ）数						
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		児童館の一部諸室を育成室等へ転用する改修を行う。														
						成果指標		指標名（1）		児童館（クラブ）改修等による受入枠の拡大数						
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1 所	7	0	3	0	2	0	0.0							
	活動指標（2）	2														
	成果指標（1）	3 人	185	72	72	87	87	0	100.0							
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	96,574	67,373	64,243	44,405	40,487	0	平成28年度予算執行率（%）	91.2						
	（内）投資的経費等	6 千円	96,574	67,373	64,243	44,405	40,487	0	特記事項							
	（内）委託費	7 千円	96,574	65,236	62,106	40,405	36,972	0								
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	881	881	875	875	856	856							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14 千円	97,455	68,254	65,118	45,280	41,343	856								
	単位当たりコスト	15 円	125,857	0	291,667	0	428,000	0								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源		21 千円	97,455	68,254	65,118	45,280	41,343	856								
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 313

平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ受入枠拡大のための改修(西荻南)	1	所	35,067
		学童クラブ受入枠拡大に伴う空調機設置(東田)	1	所	1,905
		学童クラブ受入枠拡大に伴う什器等整備			3,515
		その他()			
(2) 事業実績	学童クラブの需要増に対応するため、児童館の一部諸室を改修して育成室等に転用し、受入枠の拡大を図りました。				

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。
	今後(3~5年)の予測と方向性	中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。
評価と課題	増加する学童クラブ需要に応えるため、小学校内への移設や既設学童クラブの改修等を計画的に進め、受入数の拡大に努めました。局所的に受入数を上回る入会申請数となりました。一方では、平成29年4月開始に向けて、放課後等居場所事業や学校から児童館への直接来館制度の実施を準備し、学童クラブ以外の新たな受け皿を具体化しました。	

翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
	翌年度予算の方向性の理由・内容	中長期的な児童数の推移を見据え、校舎改築との整合を図りながら、今後も段階的に小学校内への移設を進めます。喫緊の需要対策としては、需要増が顕著な地域を中心に、既存の学童クラブの受入数を拡大するとともに、登録した児童が放課後、学校内で安全に過ごすことができる放課後等居場所事業の拡充や、学校からランドセルを持ったまま、直接児童館に来館できる直接来館制度など、学童クラブ以外にも放課後等の多様な居場所の整備をあわせて進めます。	

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00687）

事務事業名称		桃井第二小学校学童クラブの整備			款	04	項	02	目	03	事業	043	整理番号	317	
現担当課名		児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	316			
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分			投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成27年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成28年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分									一般	
	対象	施設管理			根拠法令等	(1)		児童福祉法第6条の3第2項							
						(2)		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、桃井第二小学校の校舎内に学童クラブを整備する。			活動指標	指標名（1）		学童クラブ移転整備							
					指標説明										
					指標名（2）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	荻窪北学童クラブの移転スペースを桃井第二小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			成果指標	指標名（1）										
					指標説明										
					指標名（2）										
					指標説明										
区分	単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	対計画比(%)					
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績									
指標	活動指標（1）	1	所		1	0	1	0	1	0.0					
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		1,600	1,273	5,700	4,244	44,612	平成28年度予算執行率(%)	74.5				
	(内) 投資的経費等	6	千円		1,600	1,273	5,700	4,244	44,612	特記事項 ○設計委託の入札を行った結果、執行率が90%を下回りました。					
	(内) 委託費	7	千円		1,600	1,273	5,700	4,244	44,612						
	職員数	常勤職員数	8	人		0.10	0.10	0.10	0.10		0.10				
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円		881	875	875	856		856				
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0				
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0				
	財源	総事業費(5+11+12+13)	14	千円		2,481	2,148	6,575	5,100		45,468				
		単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円		881,000	0	875,000	0		856,000				
		受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0				
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0		0				
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0		0				
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0						
差引：一般財源(14-20)		21	千円		2,481	2,148	6,575	5,100	45,468						
受益者負担比率(16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 317

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	学童クラブ移転にかかる施設設計（実施設計）	1	所	4,244
	(2) 事業実績	<p>桃井第二小学校内に荻窪北学童クラブの移転スペースを確保するための施設設計（実施設計）を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。</p>			
評価と課題		<p>桃井第二小学校改築の実施設設計に合わせて校舎内への学童クラブ整備の実施設設計を進め、育成環境の充実した設計を具体化しました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容		<p>平成31年4月開所に向け、引き続き施設整備を行っていきます。</p>			

平成29年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00688 ）

事務事業名称 高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 044	整理番号 318		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402			昨年度整理番号 317			
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成27年度					主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成28年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般			
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)		児童福祉法第6条の3第2項			
					(2)		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に学童クラブを整備する。		活動指標	指標名（ 1 ）		学童クラブ移転整備			
				指標説明						
				指標名（ 2 ）						
				指標説明						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	高円寺北、高円寺中央学童クラブの移転スペースを高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。		成果指標	指標名（ 1 ）						
				指標説明						
				指標名（ 2 ）						
				指標説明						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（ 1 ）	1 所		1	0	1	0	1	0.0	
	活動指標（ 2 ）	2								
	成果指標（ 1 ）	3								
	成果指標（ 2 ）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		3,396	2,793	21,181	20,997	28,086	平成28年度 予算執行率(%)	
	(内) 投資的経費等	6 千円		3,396	2,793	21,181	20,997	28,086	99.1	
	(内) 委託費	7 千円		3,396	2,793	21,181	20,997	28,086	特記事項	
	職員数	常勤職員数	8 人		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円		881	875	875	856	856	
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円		4,277	3,668	22,056	21,853	28,942		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円		881,000	0	875,000	0	856,000		
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	4,017	0	
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	999	0	
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	5,016	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		4,277	3,668	22,056	16,837	28,942		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	318	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ移転にかかる施設整備		1	所	17,187
		学童クラブ移転にかかる施設設計(実施設計)		1	所	3,010
		学童クラブ移転にかかる工事監理		1	所	800
	その他()					
(2) 事業実績		高円寺地域小中一貫教育校内に高円寺北、高円寺中央学童クラブの移転スペースを確保するための施設設計(実施設計)と、施設整備に着手しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化		女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性		中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。			
	評価と課題		高円寺地区小中一貫教育校改築の実施設計に合わせて校舎内への学童クラブ整備の実施設計を進め、育成環境の充実した設計を具体化するとともに、施設整備にも着手しました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)		I 事業コストの方向性	拡充		
			II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度予算の方向性の理由・内容		平成31年4月開所に向け、引き続き施設整備を行っていきます。				

平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00723)

事務事業名称		下高井戸児童館の改修			款	04	項	02	目	03	事業	051	整理番号	321	
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成28年度													
	平成28年度担当課名	児童青少年課									事業評価区分		一般		
	対象	施設管理			根拠法令等		(1)		児童福祉法第35条						
							(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○区立施設再編整備計画に基づく、再編後の児童館施設の活用の一貫として、下高井戸学童クラブの高井戸第三小学校内移転後の児童館施設に、ゆうゆう下高井戸館を移転・複合化し、多世代が利用できる地域コミュニティ施設のモデルとなる取組を進める。			活動指標		指標名(1)		下高井戸児童館の改修						
						指標説明									
						指標名(2)									
						指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	○高井戸第三小学校へ移転した学童クラブスペースに、ゆうゆう下高井戸館を移転し、下高井戸児童館と複合化するため、施設改修を行う。			成果指標		指標名(1)									
						指標説明									
						指標名(2)									
						指標説明									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 所				1	0	1	0.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				57,522	49,883	72,304	平成28年度予算執行率(%)	86.7					
	(内)投資的経費等	6 千円				57,522	49,883	72,304	特記事項						
	(内)委託費	7 千円				57,522	49,883	70,304	○設計委託及び工事請負の入札を行った結果、執行率が90%を下回りました。						
	職員数	常勤職員数	8 人				0.00	0.10	0.10						
		再任用職員数	9 人				0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人				0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円				0	856	856						
		再任用職員分	12 千円				0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円				0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円				57,522	50,739	73,160							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円				0	0	856,000							
	財源	受益者負担分	16 千円				0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円				0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円				0	0	0						
その他の補助金等		19 千円				0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円				0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円				57,522	50,739	73,160							
受益者負担比率(16÷14)	22 %				0.0	0.0	0.0								

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	321	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		下高井戸児童館の改修		1	所	41,800
		下高井戸児童館の改修に伴う施設設計(実施設計)		1	所	7,846
		下高井戸児童館の改修に伴う工事監理		1	所	237
	その他()					
(2) 事業実績	下高井戸児童館に、ゆうゆう下高井戸館を移転するための施設設計(実施設計)と、改修工事に着手しました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。				
	今後(3~5年)の予測と方向性	中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。				
評価と課題		区立施設再編整備計画の一貫として、施設設計に取り組むとともに、改修工事に着手することができました。引き続き、平成29年度の施設再開に向けて準備を行います。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
		II 事業の改善の方向性	対象外			
翌年度予算の方向性の理由・内容	施設改修を着実に進めるとともに、平成29年度の再開後の児童館とゆうゆう館による連携事業について検討します。					

平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00724）

事務事業名称 高井戸第三小学校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 052	整理番号 322	
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成28年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
	平成28年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般		
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第6条の3第2項			
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区立施設再編整備計画に基づき、高井戸第三小学校の校舎内に学童クラブを整備する。			活動指標	指標名（1）	学童クラブ移転整備		
					指標説明	学童クラブ環境整備（別棟改修）			
					指標名（2）				
					指標説明				
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	下高井戸学童クラブの移転スペースを高井戸第三小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			成果指標	指標名（1）	学童クラブ移転整備による定員の増			
					指標説明				
					指標名（2）				
					指標説明				
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	
指標	活動指標（1）	1 所				1	1	0	
	活動指標（2）	2 所				0	0	1	
	成果指標（1）	3 人				37	37	0	
	成果指標（2）	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				54,550	53,998	8,086	
	(内) 投資的経費等	6 千円				54,550	53,998	8,086	
	(内) 委託費	7 千円				53,350	52,894	8,086	
	職員数	常勤職員数	8 人				0.00	0.10	0.10
		再任用職員数	9 人				0.00	0.00	0.00
		非常勤職員数	10 人				0.00	0.00	0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円				0	856	856
		再任用職員分	12 千円				0	0	0
		非常勤職員分	13 千円				0	0	0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円				54,550	54,854	8,942	
	単位当たりコスト (14÷6)÷1	15 円				0	856,000	0	
	財源	受益者負担分	16 千円				0	0	0
		国からの補助金等	17 千円				0	0	0
		都からの補助金等	18 千円				0	0	0
その他の補助金等		19 千円				0	0	0	
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円				0	0	0	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円				54,550	54,854	8,942	
受益者負担比率 (16÷14)	22 %				0.0	0.0	0.0		

平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	322	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ移転にかかる施設改修		1	所	51,994
		学童クラブ移転にかかる初度調弁		1	所	1,104
		学童クラブ移転にかかる備品搬出		1	所	900
	その他()					
(2) 事業実績	高井戸第三小学校内に下高井戸学童クラブの移転スペースを確保するための施設改修と、開設準備を行いました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働きの増加や核家族化の進展等、社会状況の変化等を背景に、近年、学童クラブ需要は増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,200人増加しています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消や夏休み等の受入時間延長を求める声が寄せられています。				
	今後(3~5年)の予測と方向性	中長期的には児童数が減少に転ずるものと推計されていますが、当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されます。				
評価と課題	高井戸第三小学校内に十分なスペースの学童クラブを整備し、平成29年4月に開設することができました。開設時の入会希望者は、移転前の最大受入枠(113人)を超えましたが(125人)、全員受け入れることができました。今後も入会希望者の増加が見込まれることから、平成29年度には更なる拡大を進めます。					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
		II 事業の改善の方向性	対象外			
翌年度予算の方向性の理由・内容	学童クラブの更なる環境整備のため、平成29年度には高井戸第三小学校敷地内のゆうゆう下高井戸館で使用している建物を改修し、学童クラブに転用します。					